

PRP 313M-SF

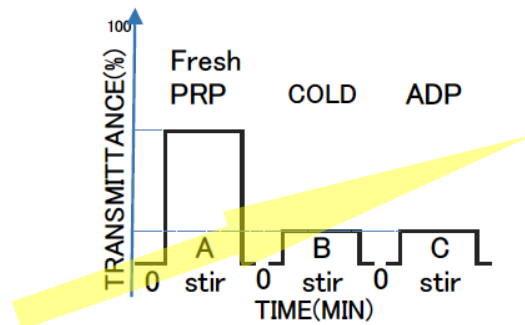
Stop and Flow 血小板形態定量システム



PRP: 光透過(濁度)測定装置

Light Transmission Platelet Aggregometry

光透過を用いた Stop and Flow法による血小板形態の定量



Stop and Flow血小板形態定量法

回転と温度を制御する事により、光透過から血小板の形態を定量化する事が可能になり、血小板活性を知る事が出来るようになりました。

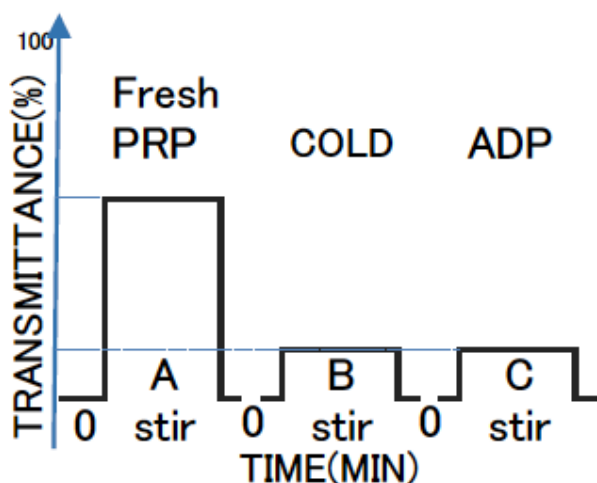


TAIYO Instruments, Inc.

TAIYO 血小板凝集能測定装置 **PRP313M** Plus - SF 血小板形態定量システム

★PRP(光透過)を用いた Stop and Flow法による血小板形態の定量

従来より測定されている、血小板凝集能をPRP法にて測る装置を使用して、回転数と測定部の温度を制御する事により、血小板の活性状態を形態を定量化する事が可能になりました。その原理は、血小板の活性状態が悪くなると血小板の形状が変化するため光の透過が悪くなる点に着目し、PRP(光透過)法の装置が応用できる事が判りました^{文献1}。その装置のソフトを改良して製作しましたのが、**PRP313M + SF(ストップ&フロー)** 血小板形態定量システムです。



ストップ&フロー(S&F)法^{文献1}

血小板は通常、生体内において薄い円盤状(ディスク型)の状態に循環している。しかし、環境の変化に対して敏感な血小板は、球状(スフィヤ型)に変化し易く、この形態変化を定量することは、临床上あるいは輸血用血小板の保存状態の評価において重要である。

円盤状と球状の血小板細胞の光学的性質は、静止時と流動化では差が在り、円盤状(ディスク型)は静止時より透過度が増加する。この性質を応用して測定するのが、S&F法である。



文献: Shiro Ohnoki and Hirotoishi Shibata : EVALUATION OF PLATELET SHAPE BY A STOP AND FLOW METHOD USING AGGREGOMETER, JJTM, Vol 43, 350-355, 1997

主な仕様(S&F仕様含)

- ・測定原理 : PRP(光透過/濁度)法
- ・解析ソフト : G-Type, PAT, 2濃度, S&F解析
- ・測定チャンネル : PRP; 12チャンネル, PPP; 1チャンネル
- ・検体量 : PRP ; 200 μ l
- ・試薬添加量: 22.2 μ l
- ・攪拌速度 : 600~1000(100単位)rpm \pm 10%(S&F任意設定)
- ・測定部温度: S&F測定時; 室温 $^{\circ}$ C, PRP測定時; 37 $^{\circ}$ C \pm 0.5 $^{\circ}$ C
- ・試薬冷却槽: 6 $^{\circ}$ C \pm 1 $^{\circ}$ C, 12穴
- ・本体電源 : AC 100V 50/60Hz 200VA
- ・本体寸法 : 385(D)x468(W)x135(H)
- ・本体重量 : 17kg
- ・許可番号 : 27B2X90003000001

標準構成品

- ・TAIYO血小板凝集能測定装置 PRP313M-SF 本体 : 1台
- ・インクジェット式 カラープリンター : 1式
- ・ノートブックタイプ パーソナルコンピューター : 1式
- ・4連ピペット(27mm ピッチ) : 1本
- ・キュベット : 7 ϕ x 50 mm (スターラー入り、50本) : 4箱
- ・試薬添加用チップ(96本入り) : 2箱
- ・記録紙 : 100枚
- ・取扱説明書(補足説明付) : 2冊
- ・専用ソフト(PR313M + S&Fオプション) : 1枚



発売元

株式会社 **タイヨウ**

〒536-0025 大阪市城東区森之宮2-4-29

Tel: 06-6969-2421/Fax: 06-6969-2422

URL: www.t-taiyo.com E-MAIL: info@t-taiyo.com